

HELLO クリス!!

Sports 応援!

1月に入ると、冬のスポーツイベントが多くなります。日本人は、よく「頑張れ!ファイト!」と言います。しかし、英語では「頑張る」という言葉がありません。そのため、「ファイト」は使いません。では、アメリカに行ったらどう言えばいいのでしょうか?

最初は、「Do your best!」(ドゥ ユア ベスト=最善を尽くせ!)とよく言います。この言い方は、試合前に使えばいいのですが、途中で言った場合、「君は頑張りが足りない」と選手が感じる可能性があるのです。使わない方がよいです。

次は、「Don't give up」(ドント ギブ アップ=あきらめないで!)。また、「Hang in there」(ハング イン ゼア=あきらめず、疲れても頑張る)という言い方があります。他に「Keep going!」(キープ ゴーイング=やめずに続けて!)もよく使います。

選手がとても頑張っている時は、「You're doing great!」(ユアー ドゥイング グレイト=すごく上手にできています!)です。

選手が負けたり、タイムが遅かったりした時は、「You'll do better next time.」(ユール ドゥ ベター ネクスト タイム=次回はもっとうまくいくよ)という言い方があります。その後、続けて「Don't give up!」を言った方がよいと思います。

英語の応援はどうですか?今度、外国人の選手を見る時に言ってみませんか?

「Everyone, do your best!」

人口と 12/31 現在

世帯数 ()内は前月比

人口	11,885人	(-2)
男性	5,544人	(-1)
女性	6,341人	(-1)
世帯数	5,161世帯	(+2)

鬼北町女性団体連絡協議会からのお礼

でちこんか2010チャリティーバザーの売上金は、111,680円でした。この売上金は鬼北町社会福祉協議会に寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。

【鬼北町人権教育協議会からお知らせ】



12月11日、広見体育センターで「鬼北町人権を考える集い」を開催しました。

オープニングはコルグリンの皆さんによるさわやかな歌声の披露、そして小中学生4人が人権作文を発表しました。

そのあと、ニュースキャスターとして活躍中の辛坊治郎氏をお迎えし、「人権を侵害しないために」と題して講演をしていただきました。多種多様な情報が送受信できる今日の社会において、正しい情報を的確に把握する中で、命の尊さを感じてほしいと力説されました。ユーモア溢れる話術に300人を超える参加者は魅了されました。



生涯教育課 文化スポーツ係 ☎45-1111 内線 412